

民間団体や企業による国際協力について

1. 自然環境保全に関わる活動に対する主な助成団体等

- (財) 長尾自然保護環境財団
- (財) 自然保護助成基金
- (財) 緑の地球防衛基金
- (財) イオン環境財団
- 公益信託経団連自然保護基金
- 公益信託四方記念地球環境保全研究助成基金
- 地球環境基金（環境再生保全機構）

2. 日本経団連自然保護基金の支援の概要（過去 11 年間（1992 年～2003 年）の実績）

- ◆ 累計 1,515 百万円、のべ 486 事業
- ◆ アジア 64%、太平洋 8%、南米 5%、アフリカ 4%、ロシア 3%、広域・その他 8%、国内 8%
- ◆ 2006 年度実績：63 件
- ◆ 支援プロジェクトの例
 - マサイマラ国立保護区における生物多様性確保のための環境保全プロジェクト（マラ・コンサーバンシー／ケニア）
 - インドネシア・東カリマンタン州のオランウータン保護調査プロジェクト（日本・インドネシア・オランウータン保護調査委員会）

3. 民間団体（NPO 等）が実施している国際協力の例

- ◆ 財団法人オイスカ
 - フィリピンにおいて、牛の過放牧などによりはげ山となっていた水源地への植林を地元の水源管理組合との共同プロジェクトとして実施。
- ◆ 日本国際ボランティアセンター
 - ベトナムにおいて、自然資源をコミュニティの共有物として住民が伝統的な知恵を活かしながら持続的に管理・利用していく住民参加型自然資源管理を支援。

4. 企業が実施している国際協力の例

- ◆ 東京海上日動火災保険株式会社
 - 東南アジア 5 カ国において、NGO 等とのパートナーシップのもと 3,444ha のマングローブの植林を実施。現在もフィジーを加えた 6 カ国にて継続。
- ◆ リコー株式会社
 - フィリピンにおける熱帯雨林の回復などの森林生態系保全プロジェクトを、環境 NPO や地域住民とのパートナーシップを重視して実施。